

残念 防災(避難)訓練(11月19日) 延期となる

震災に強い街づくりを目指して計画されたホ号棟防災（避難）訓練が、あいにくの雨天と今シーズン一番の寒さのために延期されました。

この訓練は、ただ震災から避難場所に避難移動するといったことではなく、ホ号棟の特徴になってきた少子高齢化(65歳以上が住民の3割)に立ち向かうためにも計画されました。

- ・高齢者や乳幼児を階段・棟ぐるみで守りながら一緒に避難をする。
- ・逃げ遅れた人を、住民の力で救出をする。

などをメインテーマにしていました。

また住民全体に、各家庭用の震災対応ハンドブック【私達は地震対策に万全でしょうか】を、各家庭に必要な《備蓄品一覧表》とともに配布いたしました。

予定1週間前の11月9日には階段委員会を開催して、当日の対応について、最終打ち合わせをいたしました。

新たに設置された備蓄倉庫には、たくさんの災害時必需品を備蓄し終わりました。

調布消防署の国領出張所も、協力に万全を期してくださいました。

そしてなによりも、この訓練参加に246名もの方が参加を表明してくれていました。

これは、全体住民の3割にも上る人数です。

地域力、住民力で、自分たち自身の命を守っていく、ということが徐々に浸透してきていました。



しかし・・・

当日、そして前日の天気予報も、この日は一日中雨。

管理組合としては、《震災は雨でも起こりうる》ことを前提に、次善の避難場所として、隣の染地幼稚園ホールをお借りしていました。

状況は、世話人たちの予想をはるかに超える悪い形で進行してしまいました。

午前には隣の神奈川まで雨が降る状況で、東京の降雨も時間の問題。しかも今シーズン最低の気温が予想されていました。

高齢者、乳幼児などの災害弱者を守ることを主眼においた初めての訓練には、あまりに過酷な天候となりました。

午前10時、断腸の思いで訓練の延期を決定いたしました（その後一日中雨天）。延期された訓練は、春3月頃に再度実施するつもりです。